

2017年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2016年8月12日

下記URLにて当社社長 120秒 メッセージをご確認下さい

http://www.cmstream.com/ir/kito201608_eD6hKwbc/_movie/



2017年3月期 第1四半期 サマリー

1. 市場環境

世界経済の減速懸念、エネルギー産業向け設備投資の低迷、中国経済の低迷などにより不透明感が高まる

2. 第1四半期業績

外部環境が厳しいなか、日本国内のインフラ投資需要が業績を下支え

売上高 10,323百万円 (前年比 14.8%減)

営業利益 561百万円 (前年比 4.2%増)

当期純利益 * 270百万円 (前年比 56.8%増) * 親会社株主に帰属する四半期純利益

為替レート Q1平均レート 1ドル = 108.1円

3. 総括

(1) 売上高は国内需要を捉え、当社想定通りに推移

(2) 中期経営計画を推進、業務効率化と収益性改善をはかり、利益面改善

(3) 為替水準、外部環境の変化は予断を許さないが、総じて順調なスタート

下記URLにて 当社社長 120秒 メッセージをご確認下さい

http://www.cmstream.com/ir/kito201608_eD6hKwbc/_movie/



1

2017年3月期 第1四半期 決算報告

2

2017年3月期 見通し

3

参考資料

2017年3月期 第1四半期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2016/3期 Q1 累計 (4~6月)			2017/3期 Q1 累計 (4~6月)		
		対売上	前期比		対売上	前期比
売上高	12,122	100.0%	43.8%	10,323	100.0%	14.8%
営業利益	538	4.4%	92.2%	561	5.4%	4.2%
為替差損				* 233		
経常利益	418	3.4%	84.9%	229	2.2%	45.0%
負ののれん発生益				** 489		
法人税等				*** 450		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	172	1.4%	149.7%	270	2.6%	56.8%
EBITDA =営業利益+償却費	1,077			1,069		

注 為替レート (2016/3期Q1→2017年/3期Q1) :

USD 121.4円 → 108.1円 CAD 98.6円 → 83.8円 EUR 134.2円 → 122.0円 RMB 19.1円 → 17.6円

* Q1末にかけて急速に円高が進んだ結果、為替差損 233百万円を計上

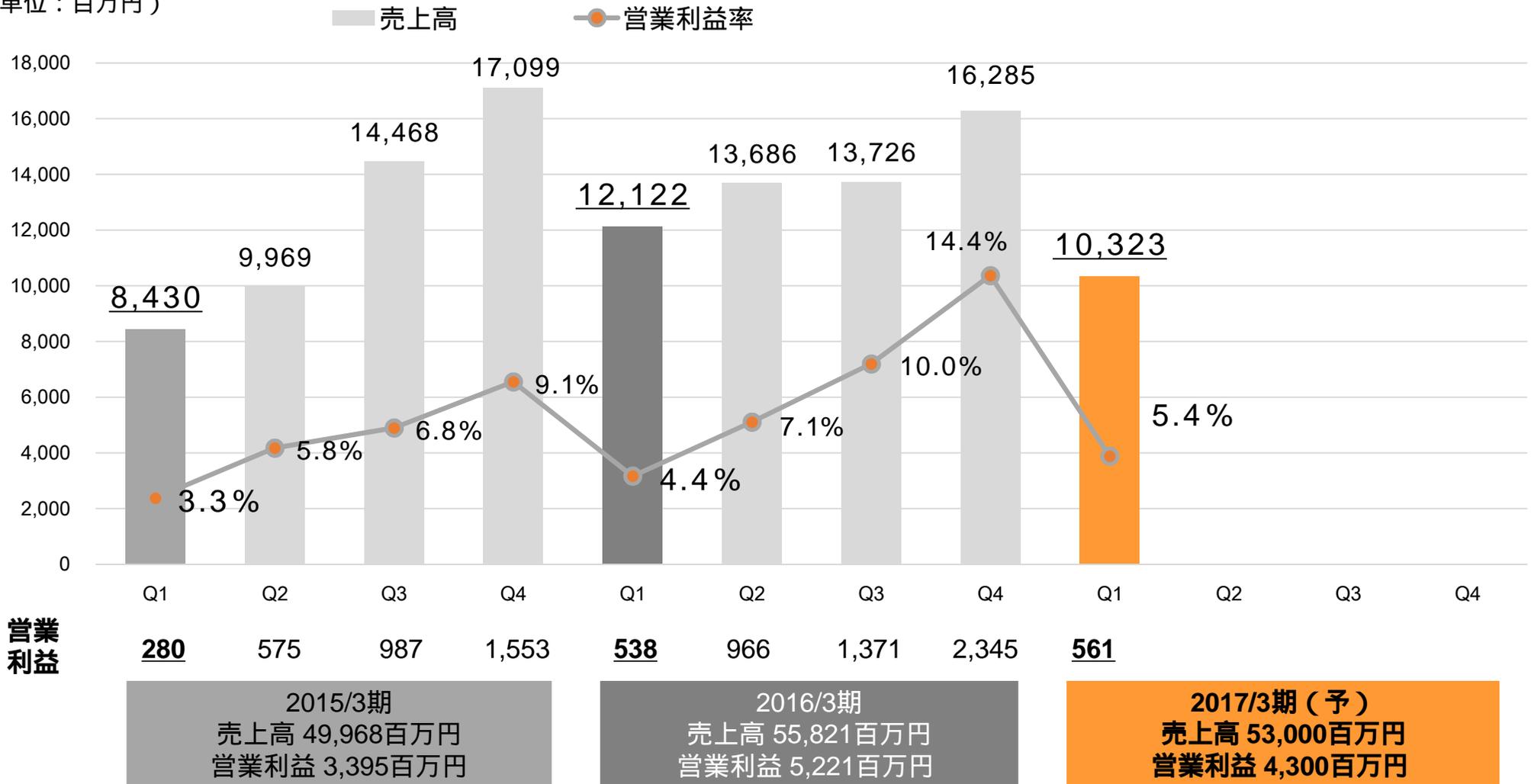
** 買収したPWB Anchor社の純資産の評価額が、取得価額を上回ったことにより「負ののれん」発生益を計上

*** 法人税等 450百万円 (法人税等調整額 385百万円を含む) を計上。

売上高および営業利益率（四半期比較）

**国内事業が堅調に推移するも、為替の影響などにより減収
営業利益は前年比で増益、営業利益率も改善**

（単位：百万円）



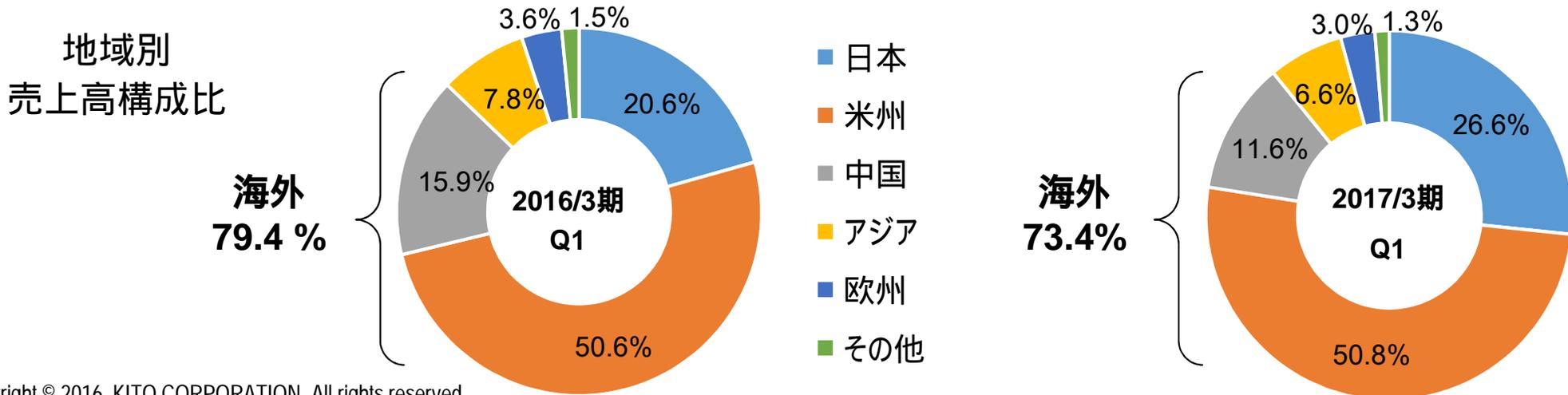
地域別の状況

グローバルに地域分散された事業ポートフォリオを展開

(単位：百万円)	2015/3期 Q1		2016/3期 Q1		2017/3期 Q1		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	8,430	100.0%	12,122	100.0%	10,323	100.0%	1,799	14.8%
日本	2,256	26.8%	2,501	20.6%	2,748	26.6%	246	9.9%
米州	2,910	34.5%	6,133	50.6%	5,246	50.8%	887	14.5%
中国	1,862	22.1%	1,926	15.9%	1,199	11.6%	726	37.7%
アジア	782	9.3%	940	7.8%	685	6.6%	255	27.1%
欧州	466	5.5%	434	3.6%	313	3.0%	120	27.8%
その他地域	151	1.8%	185	1.5%	129	1.3%	56	30.1%

注 為替レート (2016/3期 Q1→2017年/3期 Q1) :

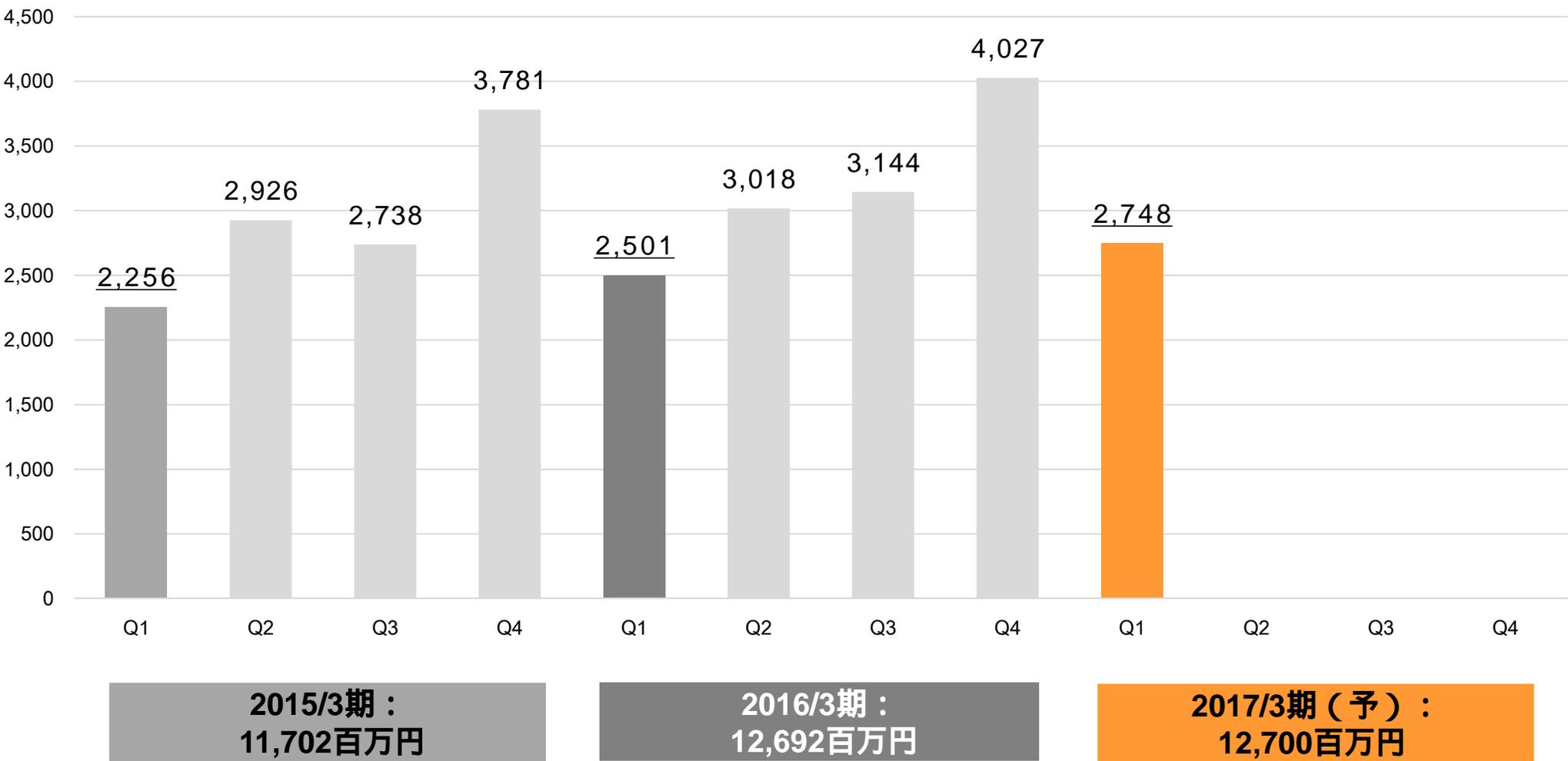
USD 121.4円 → 108.1円 CAD 98.6円 → 83.8円 EUR 134.2円 → 122.0円 RMB 19.1円 → 17.6円



地域別売上高（日本）

電力・インフラ整備向けに需要が顕在化
民間設備投資は、慎重さがうかがえるも底堅く推移

（単位：百万円）

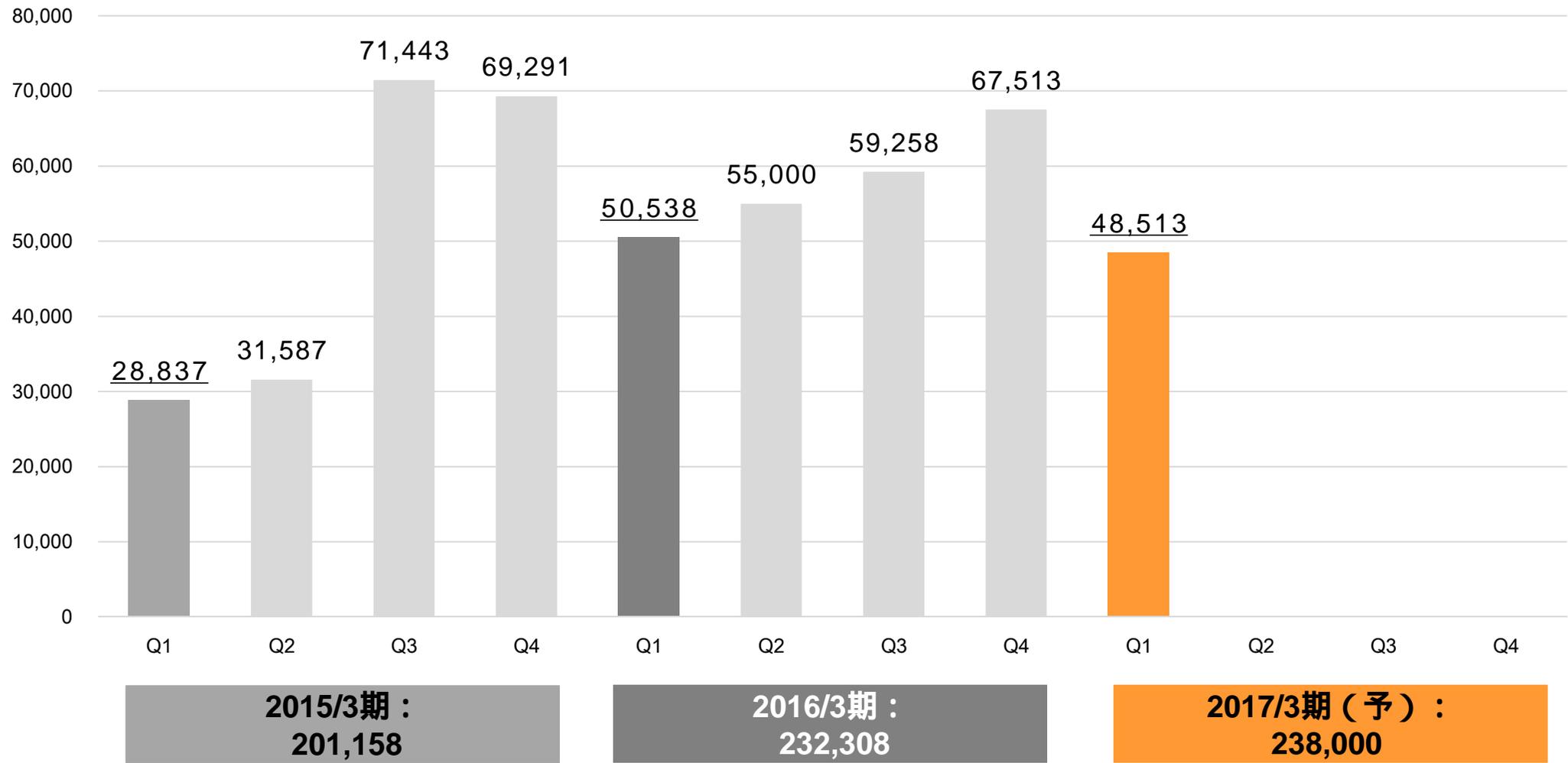


地域別売上高（米州）

グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高（千ドル換算）を加算した金額の推移

天然資源産業の投資需要が低迷 民間の設備投資に手控え感あり

（単位：千USD）

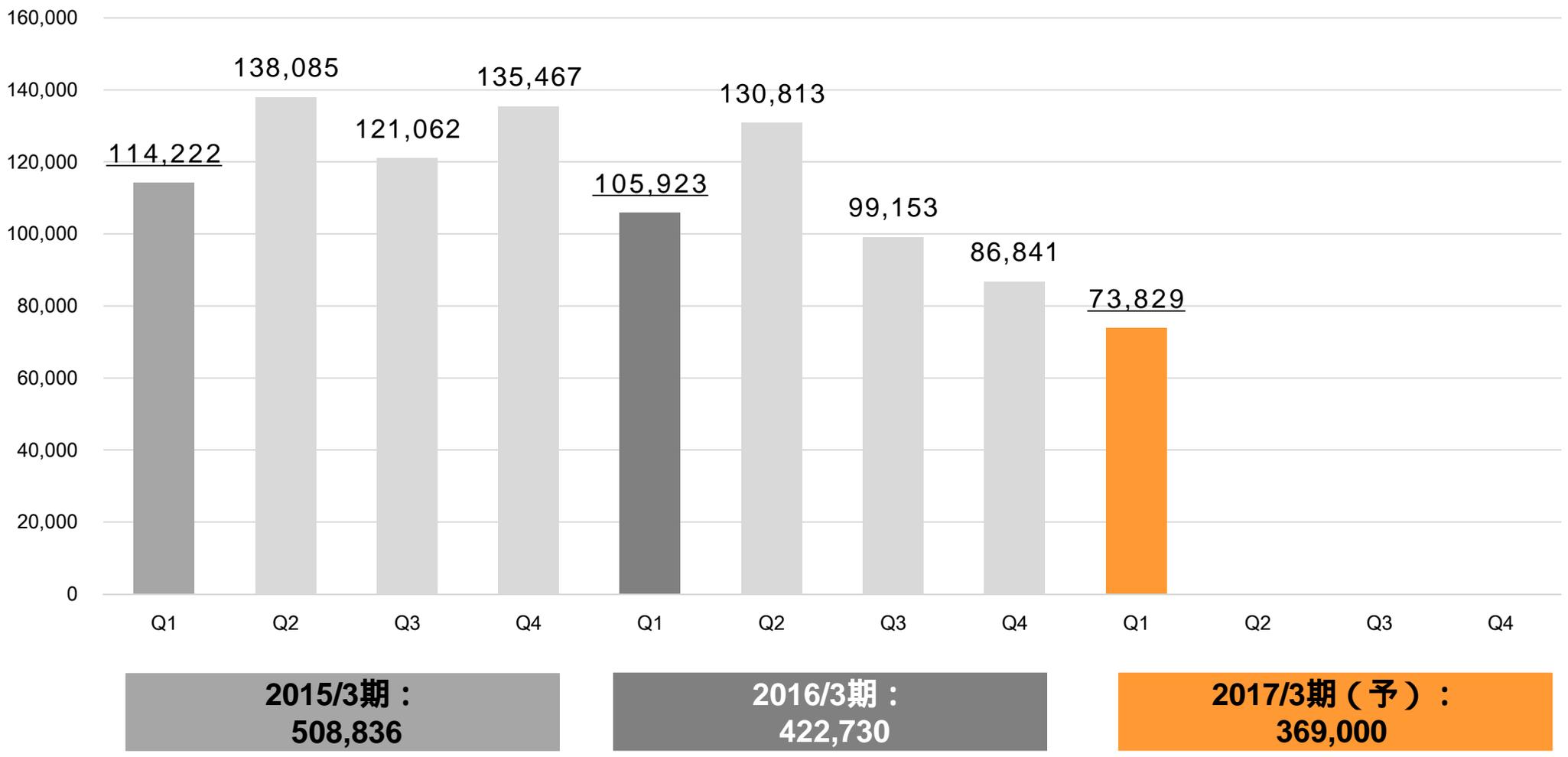


地域別売上高（中国）

中国は1-12月決算

経済の減速が続き、需用は引き続き低迷するなか、コスト削減に注力
グローバル展開に向けた新形ワイヤロープホイスットの生産を開始

（単位：千RMB）

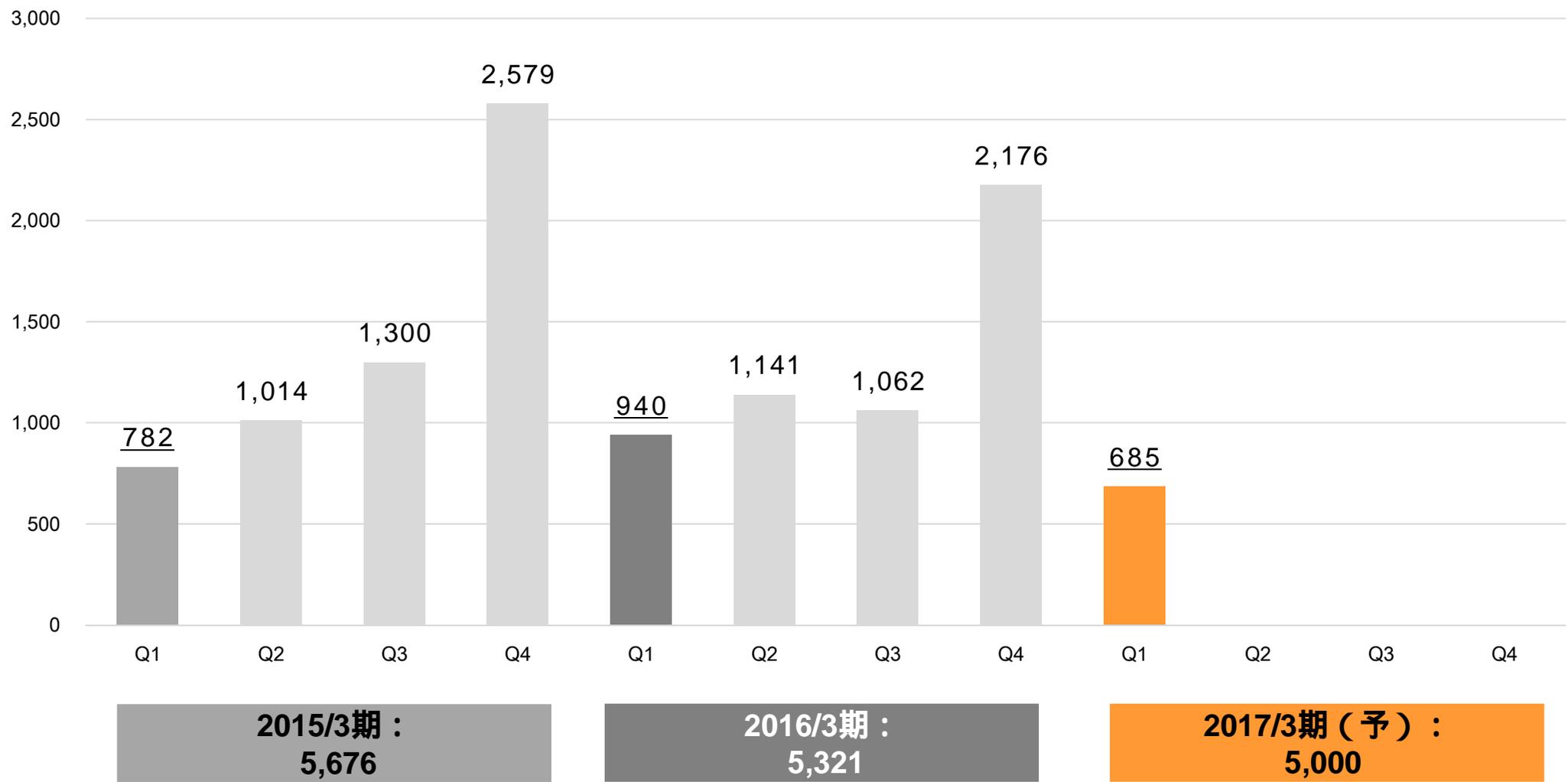


地域別売上高（アジア）

タイ、韓国は1-12月決算

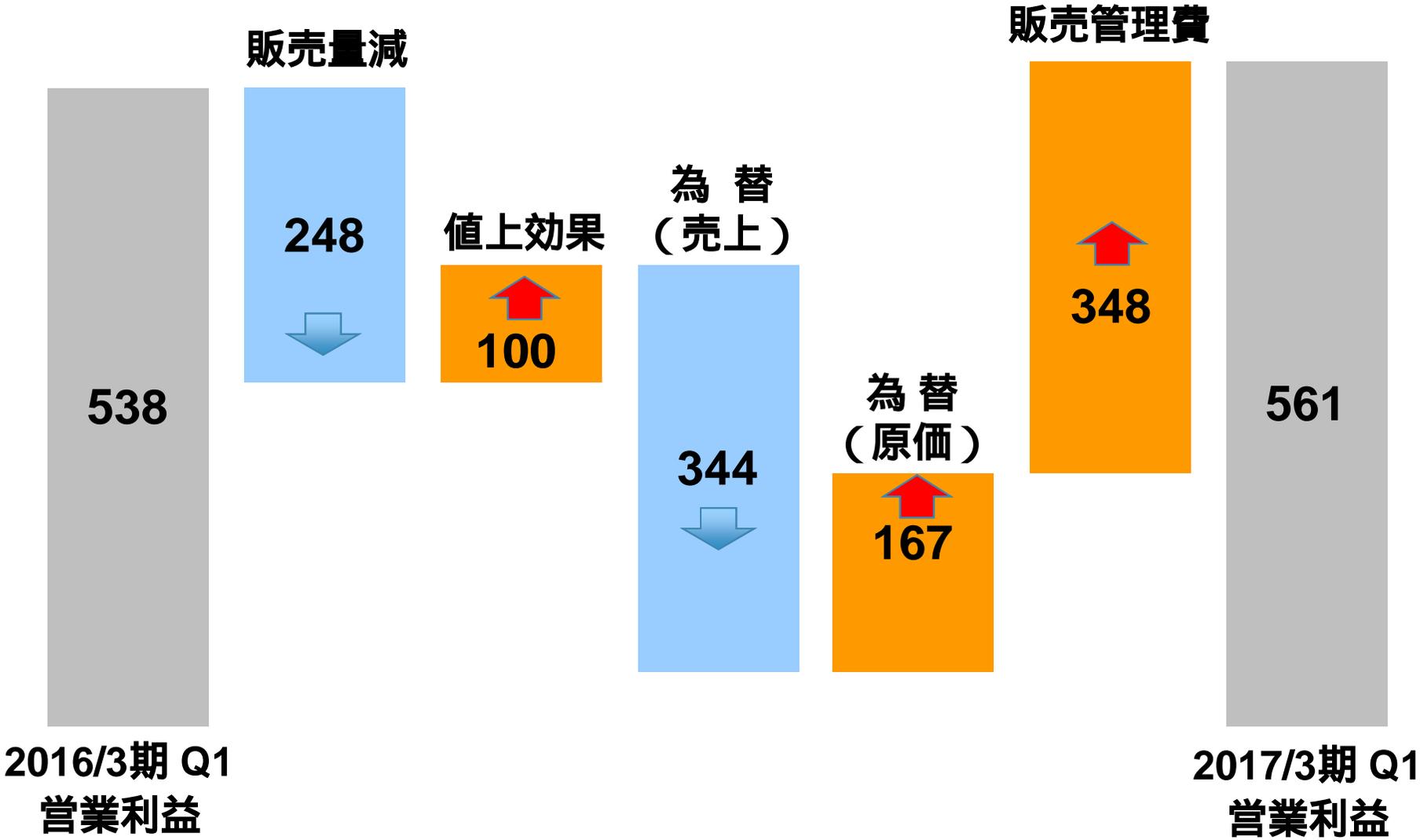
タイでは、需要低迷のなか、利益管理の強化に成果
韓国では、クリーンルーム向けクレーンの大型受注

（単位：百万円）



営業利益の比較

(単位：百万円)



2017/3期 Q1 連結貸借対照表

単位：百万円	2016/3期 期末	2017/3期 Q1	増減額
流動資産	37,599	35,110	-2,488
現金・預金	8,529	8,516	-13
受取手形及び 売掛金	11,761	8,706	-3,054
たな卸資産	13,852	15,193	1,341
その他	3,456	2,694	-762
固定資産	23,040	22,186	-853
有形固定資産	11,901	11,568	-332
無形固定資産	7,896	7,427	-469
投資その他資産	3,242	3,191	-51
資産合計	60,639	57,297	-3,342

単位：百万円	2016/3期 期末	2017/3期 Q1	増減額
流動負債	15,072	14,430	-642
支払手形及び 買掛金	5,301	5,818	517
短期借入金	4,595	4,504	-90
その他	5,175	4,107	-1,068
固定負債	19,527	18,203	-1,324
長期借入金	14,687	13,571	-1,116
その他	4,839	4,632	-207
純資産合計	26,040	24,664	-1,376
負債純資産合計	60,639	57,297	-3,342

1

2017年3月期 第1四半期 決算報告

2

2017年3月期 見通し

3

参考資料

2017年3月期の見通し

日 本



市場環境

民間設備投資が継続し、ゆるやかな成長を期待
インフラ整備ほか建築土木の需要拡大を見込む

取り組み

新開発ワイヤロープホイストほか新製品を導入し、品揃えを拡大
クレーンビルダーとの連携強化

米 州



市場環境

需要は幅広い産業で底堅い推移を期待
エネルギー関連産業は引続き、需要低迷を予想

取り組み

製品品揃えの拡大による市場競争力の強化
現地生産の拡大によりサプライチェーン最適化

2017年3月期の見通し

中 国



市場環境

経済の減速傾向が続き、景気の不透明感は払しょくされず

取り組み

グローバル製品の生産拡大
コスト削減による利益改善策を継続

ア ジ ア



市場環境

中国経済の減速が地域経済に影響し、設備投資が鈍化

取り組み

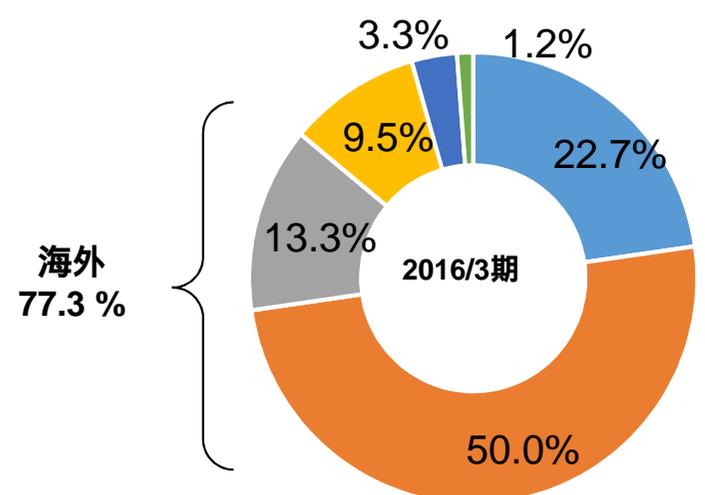
クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
タイでの生産拠点の集約化が完了、さらなる収益改善を推進

2017年3月期 業績予想（地域別）

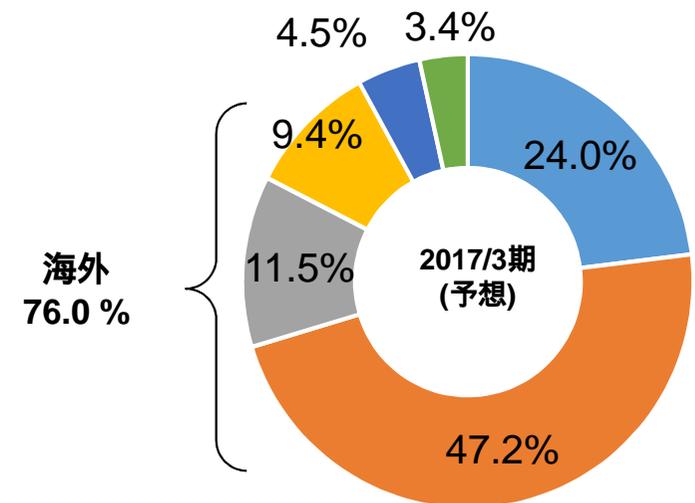
(単位：百万円)	2016/3期		2017/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	55,821	100.0%	53,000	100.0%	2,821	5.1%
日本	12,692	22.7%	12,700	24.0%	7	0.0%
米州	27,909	50.0%	25,000	47.2%	2,909	10.4%
中国	7,418	13.3%	6,100	11.5%	1,318	17.8%
アジア	5,321	9.5%	5,000	9.4%	321	6.0%
欧州	1,837	3.3%	2,400	4.5%	562	30.6%
その他地域	642	1.2%	1,800	3.4%	1,157	180.4%

注 為替レート(2016/3期→2017/3期) :
 USD 120.1円→**105.0円** CAD 91.8円→**75.0円** EUR 132.6円→**120.0円** RMB19.2円→**16.5円**

地域別
売上高構成比



- 日本
- 米州
- 中国
- アジア
- 欧州
- その他



2017年3月期 業績予想

製品・サービス分野の拡充とともに、既存事業の生産性の向上と効率化によって 営業利益率の向上を目指す

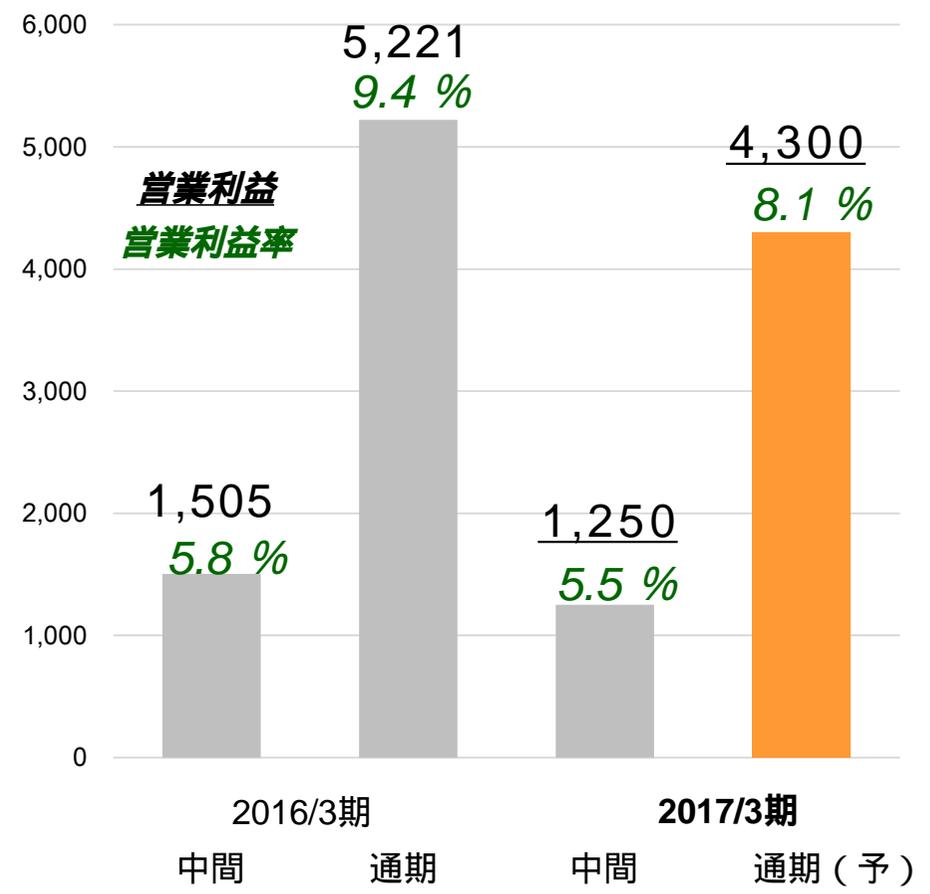
売上高

(単位：百万円)



営業利益・営業利益率

(単位：百万円)



2017年3月期 業績予想

(単位：百万円)	2016/3期			2017/3期 (予想)		
		対売上	前期比		対売上	前期比
売上高	55,821	100.0%	11.7%	53,000	100.0%	5.1%
営業利益	5,221	9.4%	53.8%	4,300	8.1%	17.7%
経常利益	4,576	8.2%	33.7%	4,000	7.5%	12.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,497	4.5%	23.2%	2,400	4.5%	3.9%
E P S	95.13円	-	-	91.39円	-	-
R O E	10.1%	-	-	9.6%	-	-
設備投資額	2,013	-	-	3,000	-	-
減価償却費	1,814	-	-	2,350	-	-

注 為替レート(2016/3期→2017/3期) :

USD 120.1円→**105.0円** CAD 91.8円→**75.0円** EUR 132.6円→**120.0円** RMB19.2円→**16.5円**

1

2017年3月期 第1四半期 決算報告

2

2017年3月期 見通し

3

参考資料

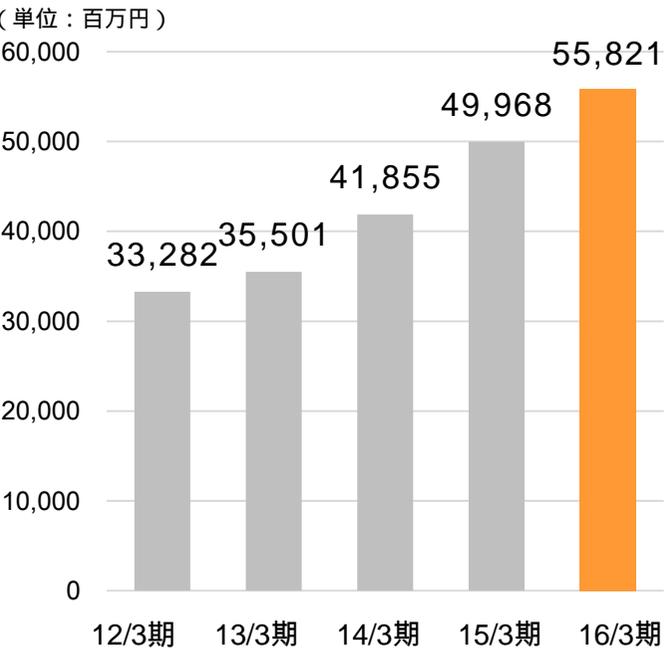
2012年3月期～2016年3月期 5年間の業績・財務情報

2012年3月期～2016年3月期 5年間の地域別売上高推移

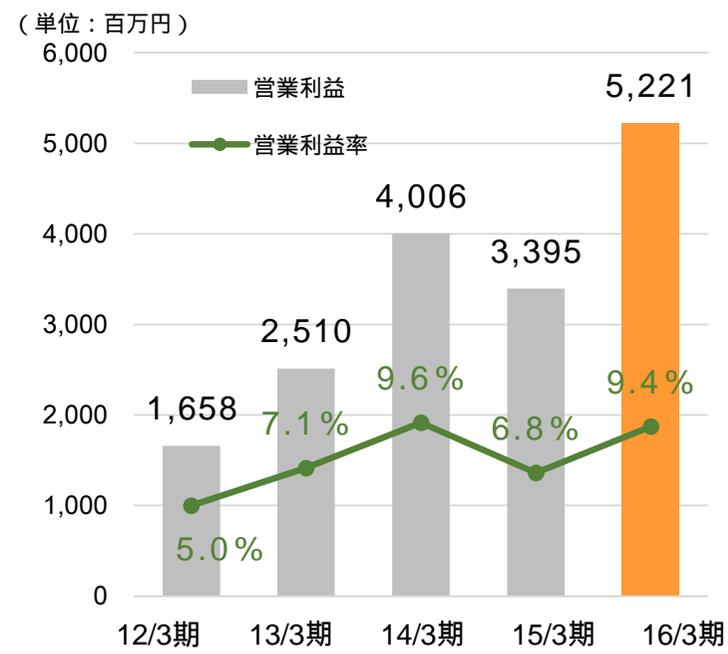
2017年3月期～2021年3月期 新中期経営計画

業績・財務情報

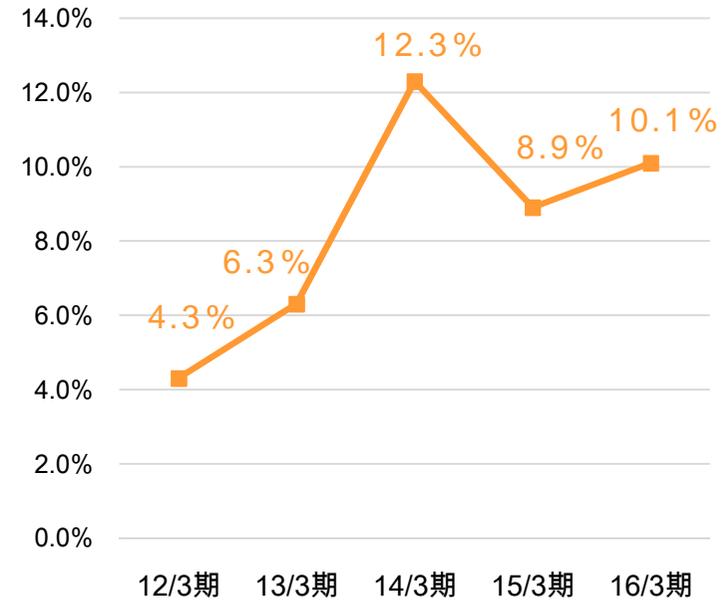
売上高



営業利益・営業利益率

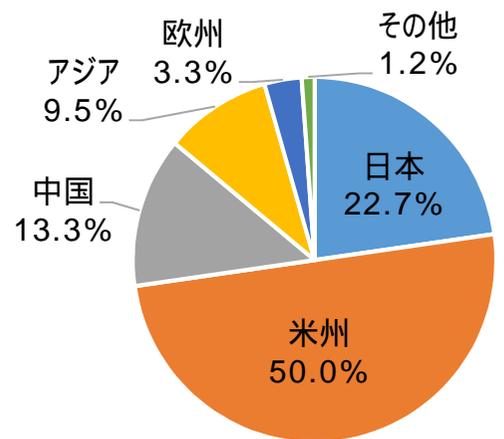


ROE



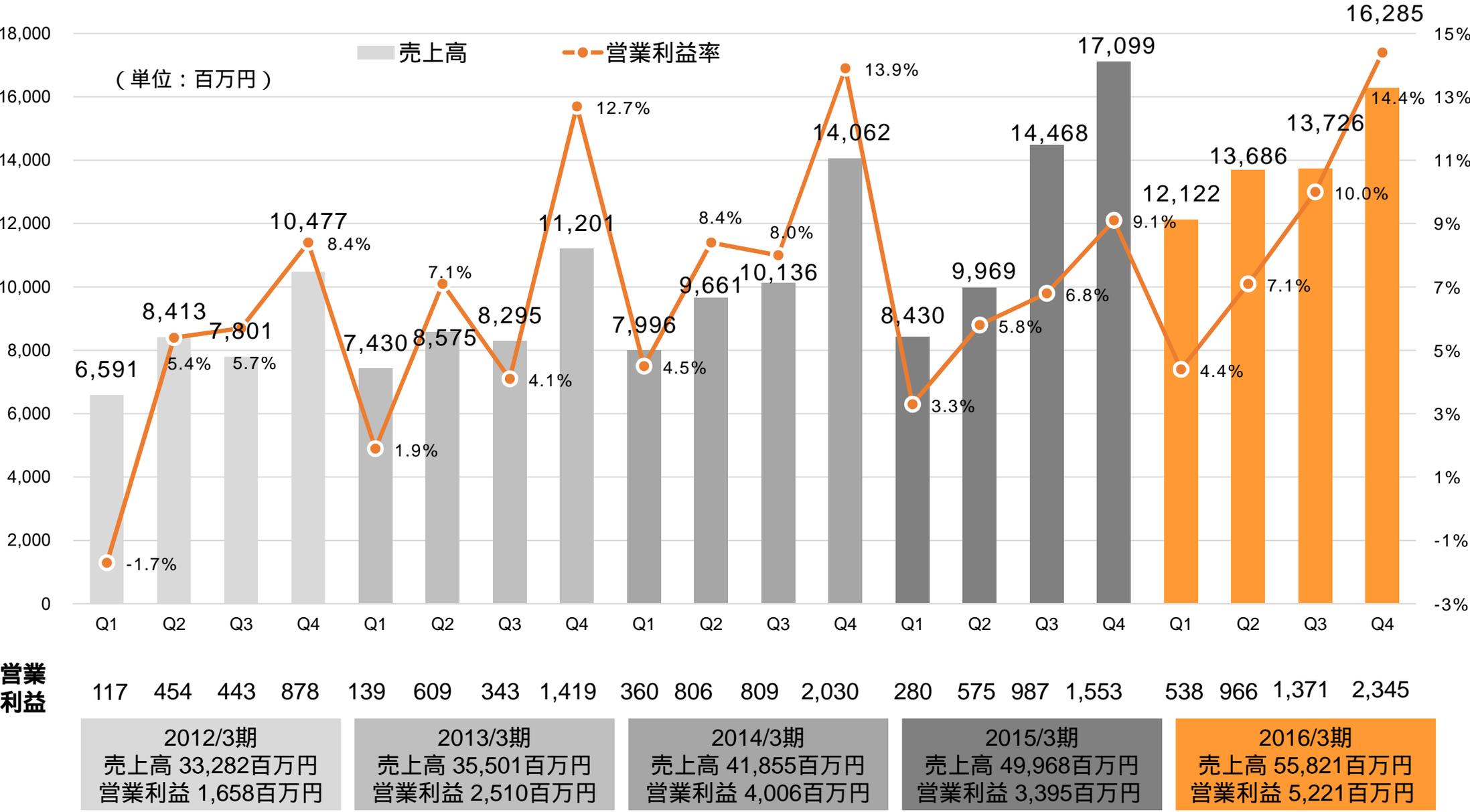
地域別売上高比率

(2016年3月期)



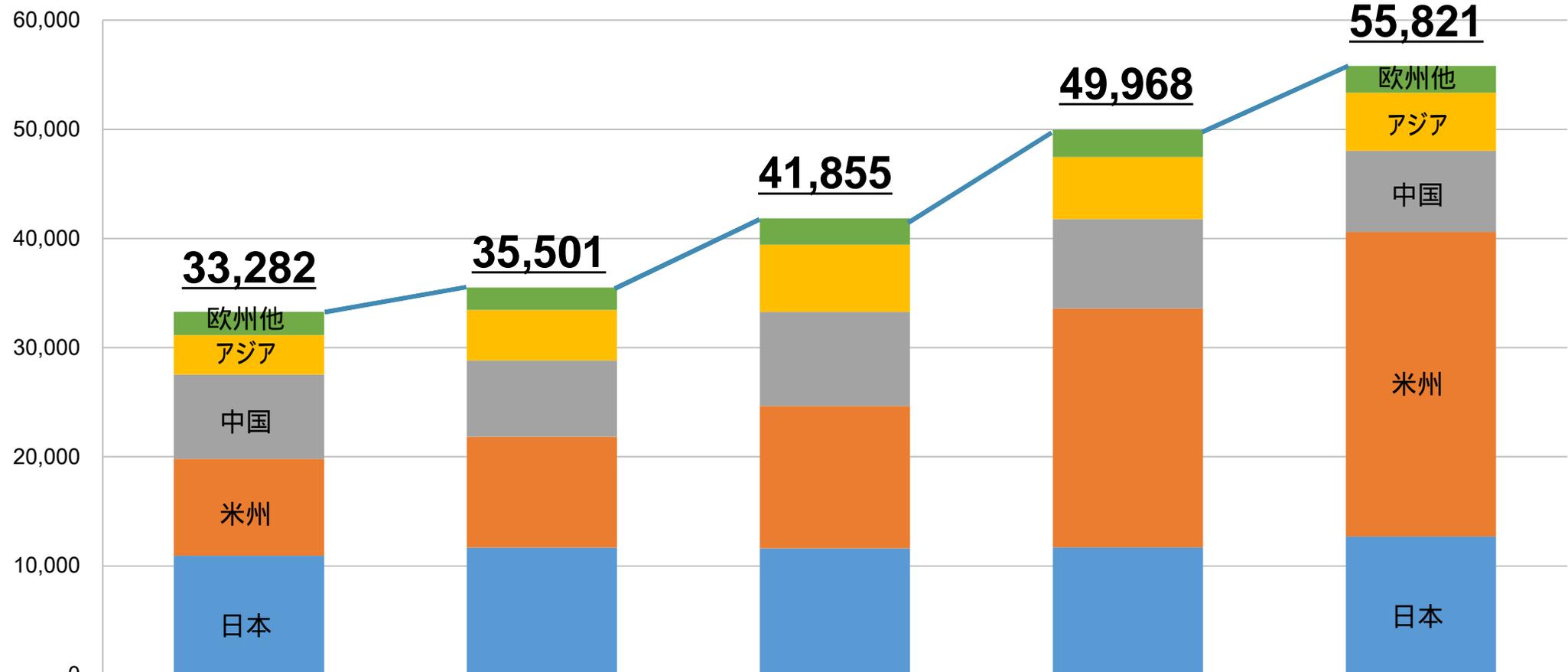
	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期
海外比率	67.1%	67.1%	72.2%	76.6%	77.3%
為替平均レート					
USD	79.0円	83.1円	100.2円	109.9円	120.1円
CAD	79.7円	82.9円	95.1円	96.5円	91.8円
EUR	108.9円	107.1円	134.4円	138.8円	132.6円
RMB	12.3円	12.6円	15.9円	17.2円	19.2円
設備投資額(百万円)	1,145	1,520	2,440	1,408	2,013
減価償却費(百万円)	944	774	954	1,311	1,814

売上高および営業利益率（四半期比較）



地域別売上高推移

(単位：百万円)



	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期
■ 欧州他	2,127	2,035	2,424	2,500	2,479
■ アジア	3,608	4,626	6,168	5,676	5,321
■ 中国	7,745	6,994	8,604	8,198	7,418
■ 米州	8,851	10,163	13,034	21,888	27,909
■ 日本	10,949	11,679	11,625	11,702	12,692

中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

基本方針

3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。



3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

Goal

Financial Target

1 高収益体質への回帰

2 製品ポートフォリオ拡充による成長

3 真のグローバル企業への組織進化



(単位：億円)

“Lifting Expectations”

